

## 2022 年度第 1 回価格審査会の開催について

2022 年度第 1 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2022 年 4 月 14 日(木)
場 所	6 階大会議室
委 員	田中 弘 日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 シニアエンジニア 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 辻 保人 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 橋本 雅宏 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
当 会	共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：島田 理久 監査審査室 室長：今井 豊 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲

2021 年度第 12 回価格審査会議事録(案) 確認

2022 年度第 1 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」5月号、「Web 建設物価」5月号</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・価格が上伸した資材（工事費）</li></ul> <p><b>【Web 建設物価】</b></p> <p>月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼、鋼矢板、鋼管ぐい、異形棒鋼(全都市)、ねじ筋鉄筋(全都市)、H形鋼(全都市)、ステンレス鋼(全都市)、伸銅品(全都市)、レディーミクストコンクリート（那須塩原市、前橋市、高崎市、桐生市、太田市、足立区・葛飾区、瑞浪市、島原市、宇城A地区（旧三角町を除く）、宇城B地区（旧三角町）、美里町（下益城郡）、佐伯市、串間市）、コンクリート用骨材（一関A地区ほか5都市）、道路用砕石（一関A地区ほか4都市）、再生砕石（一関A地区ほか2都市）、コンクリート型枠用合板（全都市）、アスファルト混合物（青森市ほか55都市）、ストレートアスファルト（札幌市ほか56都市）、道路用コンクリート製品（山形市、福井市）、燃料油（福島市ほか26都市）、鉄スクラップ（全都市）、非鉄スクラップ（全都市）など</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・価格が下落した資材（工事費）</li></ul> <p><b>【Web 建設物価】</b></p> <p>コラム（大阪市）、レディーミクストコンクリート&lt;一部規格&gt;（羽咋市）、燃料油（札幌市ほか23都市）など</p> <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。</li></ul>

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	敦賀地区のアスファルト混合物は、1,300円の上伸と福井県の中で突出しているが、他地区に比べて特に敦賀地区が高かった要因は何か。	敦賀地区は、工場が少なく1社1プラントで競争性が低い。メーカーの意向でコストアップ分の値上げ転嫁が進みやすい地区であるのが一番の要因。
質問 2	前回、異形棒鋼については100,000円超えて2008年以来ということだった。最高値は2008年の8～9月で112,000円。今回、東京地区で111,000円と過去最高値に近づいてきているが、今後さらに高騰する可能性があるのか。	原料の鉄スクラップ価格の上昇が続いている。また鉄筋メーカー各社もすでに115,000円や120,000円を唱え始めている。これらを鑑みると今後おそらく最高値の112,000円を超えていくと思われる。
質問 3	セメントが他地区では横ばいであるが、大阪地区では上昇している。他地区に先んじて値上がりした理由は何か。	大阪地区は大都市圏で生コンの取引数量が比較的多いなか、安定した販売価格で推移する状況が続いていたため、他地区に先んじて値上げを受け入れられる環境があったとみられる。
質問 4	アスファルト混合物で、東北エリアと福井地区周辺だけ上がっているのはなぜか。	原材料や輸送コストの値上がりからほぼ全国で値上げ交渉が行われている。需要の大きさや、売り手、買い手の交渉力の強さによって価格交渉の進展度合いは変わる。先月は全国で128都市上伸、今月は56都市上伸。全国的に上伸傾向のなか、需要的に若干弱い東北エリアと福井地区がタイミングとして少し遅れた印象である。
質問 5	異形棒鋼の値上げ幅が7,000円から21,000円とかなり大きい。最大上げ幅はどのような地区のどのような要因なのか。	北海道地区の15,000円がベース規格での最大値上げ幅となる。先月は冬場の不需要期で横ばいとなり、今月に一気に値上げの浸透が見られた。また、最大値上げ幅の21,000円は、北海道地区のD51規格である。ベース規格の値上げと同時にエキストラ加算額も値上がりしたことによる。
質問 6	板ガラス、アルミ、せっこうボードなどのメーカーから、値上げの連絡を受け取っている。先行きはどのように考えているのか。	板ガラスは、メーカーの値上げが徐々に浸透しつつあり、強含み。アルミサッシは、原料のアルミニウムの高騰を背景に、メーカーが値上げを打ち出しており、強含み。せっこうボードは、大口価格についてはまだ値上げが浸透していないが、小口価格が新値に切り替わりつつあり、こちらも強含み。

質問 7	型枠用合板で、ロシア産木材の輸出規制の影響はあるか。	型枠用合板は、ロシア産木材を使用していないため直接的な影響は見られない。
質問 8	種子で「栽培国のコストアップや不作による値上げ」とあるが、この栽培国とはどこか。	種子の栽培国は、主にアメリカと中国の二カ国である。
質問 9	型枠用合板の東京地区の説明のなかで、「現地メーカーの資材倉庫火災などの不安要素もあり」と説明があるが、どこで火災事故があったのか。	マレーシアにある大手メーカーの工場のひとつが被害を受けた。
質問 10	セメントメーカーの全国大手は日本に何社くらいあるのか。また、セメントメーカーの値上げは、生コンが値上がりしてから受け入れられるのか、それともセメントの値上げが先行するのか。	シェアの高い全国主要大手は、太平洋セメント、UBE 三菱セメント、住友大阪セメントの3社である。セメントと生コンのどちらが先に値上がりするのは、各地区の交渉状況により異なる。
審議結果	「建設物価」5月号、「Web 建設物価」5月号の価格動向に問題はなかった。	

以上